

第2回

鹿児島国際歯学シンポジウム

- グローバルな健康長寿に向けた歯学教育と防災対策について考える -

2017年2月18日(土) 13:00 ~ 17:00

会場：鹿児島大学桜ヶ丘キャンパス 歯学部 第三講義室
形式：オープンシンポジウム（入場無料、事前登録不要） 開場：12:30

13:00~13:05 開会の挨拶

宮脇正一（鹿児島大学歯学部長）

シンポジウムⅠ(13:05 ~ 14:00)：超高齢社会に対応する歯学教育のあり方

座長：南 弘之（鹿児島大学）

健康長寿社会を担う歯科医学教育改革

窪木拓男（事業責任者・岡山大学副学長）

多様化する歯科医療に対応する歯学教育改革 -鹿児島大学の取り組み-

小松澤 均（鹿児島大学）

シンポジウムⅡ(14:10 ~ 15:30)：防災に対応する歯学教育のあり方

座長：小片 守（鹿児島大学）

情報科学と歯科法医学

佐々木啓一（東北大学大学院歯学研究科長・歯学部長）

次世代の身元確認を考える

斉藤久子（千葉大学大学院医学研究院 法医学教室）

シンポジウムⅢ(15:40 ~ 16:55)：インドネシアにおける歯科医療の現状と展望

座長：中村典史（鹿児島大学）

The Present and Future of Forensic Odontology Education

in Faculty of Dental Medicine Universitas Airlangga

Dean of Faculty of Dentistry Airlangga University

Dr. Darmawan Setijanto

Current Status Forensic Odontology in Indonesia

Head of Department of Forensic Odontology Airlangga University

Prof. Mieke Sylvia Margaretha

16:55~17:00 閉会の挨拶

本シンポジウムは、文部科学省大学改革推進等補助金「課題解決型高度医療人材養成プログラム 健康長寿社会を担う歯科医学教育改革 -死生学や地域包括ケアモデルを導入した医科歯科連携教育体制の構築-」により実施されます。

